

家畜衛生情報 (保存版)

高病原性鳥インフルエンザ 発生を防止するポイント

野生動物等の鶏舎への侵入防止

防鳥ネットに穴や隙間がないこと

農場・鶏舎の出入口での消毒の徹底

消毒槽、専用の衣服・履き物を設置

(次亜塩素酸ナトリウム、逆性石けん、石灰等)

消石灰等による畜舎周辺の消毒

周囲に穀類等のエサや生ゴミ等の野生動物を
誘因するものを置かない

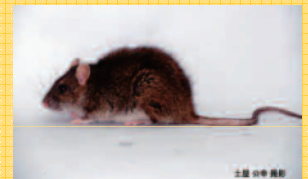
給与する飲用水は消毒されたものであること

鶏糞は農場内で十分発酵させること(中心温度70度以上)

処理施設にも防鳥ネットをはりましょう 等



防鳥ネット(設置例)
(網目2cm以下が目安)



看板(設置例)



消毒槽(設置例)



消石灰の散布(例)

日頃の飼養衛生管理と異常発見時の早期通報を徹底



連絡先 飛騨家畜保健衛生所
TEL(0577)33-1111 FAX32-9019
E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp



家畜衛生情報 (保存版)

高病原性鳥インフルエンザ

次のいずれかの症状があったら直ぐに通報してください。



沈うつ症状



鶏冠・肉垂のチアノーゼ、顔面の浮腫

鶏冠・肉垂等のチアノーゼ、卵墜および沈うつ等本病が疑われる症状を確認した場合

1鶏舎において、1日の死亡羽数が直近3週間の平均死亡羽数と比べて、増えた場合(2倍以上を目安に)

1鶏舎において、5羽以上がまとまって死亡している、うずくまっている等の異常な状況が確認された場合

その他にも、本病が疑われるような異常が確認された場合
(突然死、産卵率低下、頸の捻転等神経症状、下痢等)

毎日の観察、死亡羽数と状況を記録・保管してください。
(来場者の記録も忘れずに！)



連絡先 飛騨家畜保健衛生所
TEL(0577)33-1111 FAX32-9019
E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp

